



Rotary Club of Mishima-South Weekly Report

三島南
ロータリー
クラブ週報

2007～2008年度 国際RI会長 ウィルブリッド・J・ウィルキンソン
ロータリー2008：ロータリーは分かちあいの心



三島南ロータリークラブ 会長 古屋 憲男
クラブ会長基本テーマ「原点を学ぶ」

第868回例会 2007.7.27 晴れ

司会：石井 邦夫君 指揮：遠藤 正亀君
ロータリーソング 「それでこそロータリー」

副会長 大房 正治 幹事 西原 克甫

事務所 三島市大社町17-4
Tel.055-976-6351 Fax.055-976-6352
<http://www.mishima-south-ro.gr.jp/>

例会場 三島グランドホテル Tel.055-975-4300
毎週金曜日 第1・第3夜間例会

会長挨拶

ロータリー財団のはじまり 古屋 憲男君

壮大なプロジェクトも大変小さな種から成長することがあります。ロータリー財団の始まりも、まさにこのようにささやかなものでした。

1917年、アーチ・クラノフRI会長が、アトランタ大会にて「世界で善す目的のために基金を設置することは、極めて妥当なように思われる」と語りました。これに対する反応は丁重かつ好意的なものでしたが、その基金の実現は遅々として進みませんでした。1年後、米貨26ドル50セントが、その後6年経っても基金はわずか米貨700ドルに過ぎなかったそうです。10年後の1928年、「ロータリー財団」が設置されました。続く4年間で、財団基金は米貨5万ドルに成長しました。

1937年には、ロータリー財団の目標として米貨200万ドルの目標額が発表されましたが、この計画は、その後、第二次世界大戦で中断されてしまいました。1947年、ポール・ハリスの逝去により、このロータリーの創始者を称える追悼寄付金が波のように寄せられました。(ロータリーのいろはより)

約90年前に始まったロータリー財団ですが、最初はなかなか寄付金も集まらなかったようですが、1947年のポール・ハリスの死をきっかけに財団としての基盤が出来たようです。

今では、前々期1年間の集計額は、日本円で約134億円、最初から2006年末の合計では約2150億円が集められ、その内125億円は恒久基金として運用益だけを活用する方法がとられているようです。

このような潤沢な資金を背景にRIの活動が行われています。

幹事報告

西原 克甫君

(B) 地区より新潟中越沖地震の義援金取り組みの依頼が着ておりますので次週理事、役員会決定後皆様へお願い致しますのでよろしくお願い致します。

出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	32/36	88.89%	35/36	97.22%
今回	30/36	83.33%	会員総数	36名
欠席者	あなたが見えなくて残念でした。			
	内田君・兼子君・小林君・田中君・中山君・山上君			



スマイルボックス

(50音順)

片野誠一君

本日のクラブフォーラムはロータリー財団の担当です。よろしく願いいたします。

遠藤正亀君：最近、急に薄くなり始めた頭のテッペンに、カップになってしまうのではと心配になり、頭のケアをし始めたら少しずつ効果がでてきたので、多少安心になりスマイルします。

金澤征子君

日頃は大変お世話になっております。先日皆様方に金沢ゆきこ後援会のお知らせをさせていただきましたが、8月3日例会と重なっていますので、皆様方にはどうぞ無理をなさらないようお願いいたします。もしお時間ございましたら、懇親会においていただけますようお願い申し上げます。よろしく願いいたします。

澤田稔君

地域開発奉仕プロジェクトにご協力をお願いいたします。

石井司人君

ゴルフを積極的に始めて(選挙後)4回目ですが、先日はイーグルは出るは、昨日は30台は出るは、絶好調になりつつあります。すべてが絶好調ならいいのですが!

山口雅弘君

本日、会議のため、2時の新幹線に乗るため早退させていただきます。

委員会報告

● 地域開発奉仕プロジェクト委員会

副委員長 澤田 稔君

世界の環境問題は深刻さを増すばかりです。私たちの環境とは家であり、庭であり、道であり、地域であり国全体であり、地球であります。地球温暖化がすすんでいると言われる今日、私たちは何をなすべきか?グローバルな視野のもと、できることからすすめていこうではありませんか。そこで、当委員会としてはお二人の市議会議員の協力を得て、山中城址近辺にある約10万坪の扇平に「もみじ」を植林しようと考えています。皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

● 親睦委員会

副委員長 山本 良一君

今年度夏の家族例会企画を次回「理事役員会」に提案します。細目は以下のとおりです。

プラン名:夏の家族例会「残暑払いの夕べ」

開催日 2007年8月26日(日) 16:30ごろ～19:30ごろ

開催場所 清水町柿田川公園

「バカスのへそ」レストランおよび芝生広場

主な内容 1)水風船すくい大会、チツチャイ花火 2)JAZZ演奏 3)他(検討中、芝生でベタング、チアリーディングのその後)

会費 1)会員・5,000円 2)同伴 大人・4,000円

3)小人・1,500円 程度

その他 食事はビュッフェスタイルを予定

● クラブ細則委員会

副委員長 中村 徹君

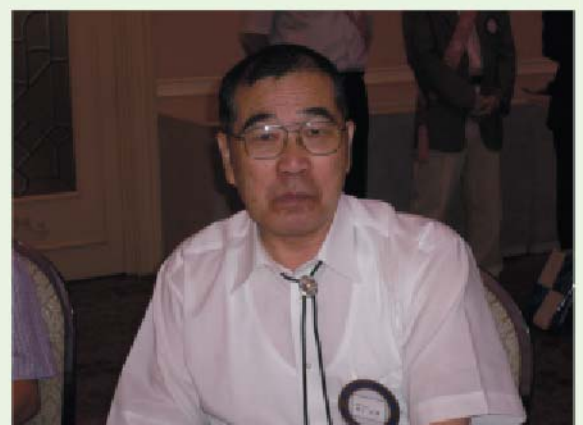
クラブ細則委員会よりのお知らせです。

CLPを進めるに当たり、RIから推奨されているクラブ細則は <http://www.rid2840.jp/tsukui/help/4-2.doc>です。みておいていただけませんか。定款についてはまだ日本語訳は出ていません。明日からでもメールでも、テーブル会や例会でも、さらには9月のフォーラムで皆さんの忌憚ないお話をいただきたいと思います。もしも「RI推奨クラブ細則」プリントアウトご希望でしたら宇都宮さん(事務局)に原本を預けましたので、コピーしてもらってくださいますか。

Photo Gallery



卓話の片野誠一君



入会記念日 松下充孝君

次回例会 8月9日 ガバナー公式訪問 ホスト/三島西R.C. 西クラブと合同 会場/三島グラン

卓 話

● ローターリー財団について

ロータリー奉仕委員会委員長 片野誠一

国際ロータリーの使命

国際ロータリーは世界中のロータリークラブの連合体であります。国際ロータリーの使命は、加盟クラブの結束をはぐくみ、世界くまなくロータリーを充実・発展させ、ロータリーの活動を世界中に知らせ、国債規模の管理体系を用意することであると決定しています。

[ロータリー財団の組織と使命]

ロータリー財団を構成する法人会員は国際ロータリーのみであり、ロータリー財団の正式名称は「国際ロータリーのロータリー財団」です。国際ロータリーと法的に組織は違っても、その目的・使命・活動は両者共に一体のものです。

ロータリー財団の使命は「地域レベル・全国レベル・国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じて、ロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、かつ世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援すること」と決定されました。ロータリー財団の使命である国際的活動に新しく、地域レベル、全国レベルの活動を加えることによってロータリー財団活動の基盤と範囲がさらに広がることになりました。

[財団プログラムと資金調達]

(クラブで参画できる財団プログラム)

- ① 国際親善奨学生の推薦
- ② 地区補助金による社会奉仕
- ③ マッチング・グラントによる海外支援
- ④ GSEメンバーの推薦および受け入れ

(プログラムを支える資金)

- ① 年次寄付
- ② 恒久基金への寄付
- ③ 使途指定寄付
- ④ 冠名寄付

● ローターリー財団への寄付金の行方(2007-2008年度)

